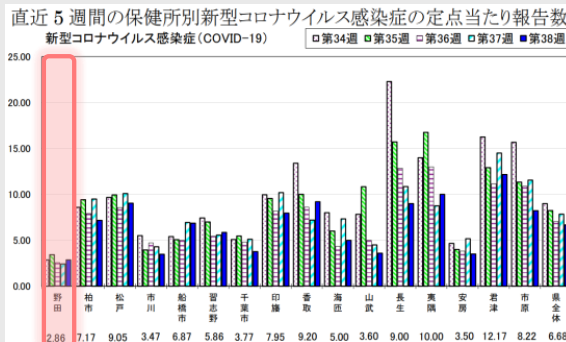
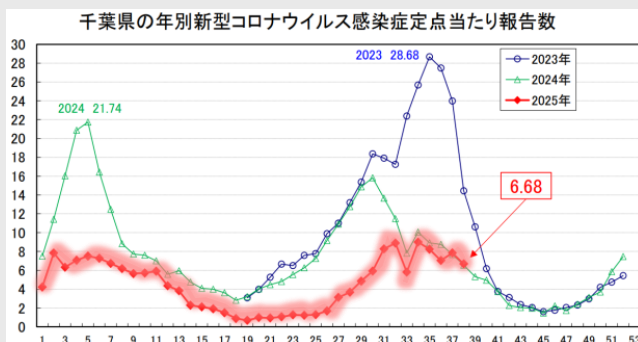


新型コロナウイルス感染症発生状況

第38週の千葉県内新型コロナウイルス感染症発生状況



2025 年第 38 週の県全体の定点当たり報告数は、前週の 7.84 人から減少して、6.68 人となりました。
年代別の患者報告数では、10 代が 330 例(26.7%)で最も多く、次いで 40 代が 152 例(12.3%)、10 歳未満が 146 例(11.8%)と続いています。

2025 年第 38 週の千葉県の新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数：6.68 人
患者報告数 1,236 例 / 報告定点医療機関数 185 施設

▼ 引用・参考 千葉県の新型コロナウイルス感染症の発生状況 2025 年第 38 週

9月24日から9月30日は、「結核・呼吸器感染症予防週間」です

結核

今でも国内において、年間10,000人以上の新しい患者が発生し、1,400人以上が命を落としている国内の主要な感染症です。2週間以上咳が続く場合は、結核を疑い、重症化と感染拡大の防止のために、早めに医療機関を受診しましょう。

令和7年度の標語「長引いた 咳に結核 疑って 早い受診につなげよう」

呼吸器感染症

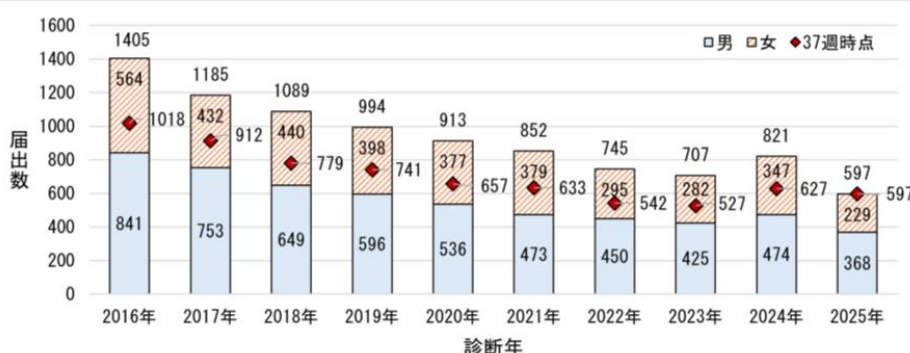
今年は百日咳の感染者数がとても多く、さらにこれからはインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの流行時期を迎えます。感染防止のため、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い、換気等の基本的な感染対策を行いましょう。

令和7年度の標語「手洗いマスク 習慣づけて 防ごう呼吸器感染症」

2016年から2025年までの千葉県内結核届出数（2025年第37週時点）

結核は、2025年第37週に県内医療機関から12例の届出があり、累計597例となりました。

県内医療機関からの届出数は、近年減少傾向にありましたが、2024年は増加に転じており、本年も引き続き注意が必要です。



▼ 引用・参考 千葉県感染症情報センター

第 3 7 週
9/8~9/14

第 3 8 週
9/15~9/21

注目トピックス

- インフルエンザの流行シーズン入りについて（令和7年9月24日/千葉県）
- 今シーズン（2025/2026期）のインフルエンザの発生状況に関する公表を開始いたしました。（厚生労働省）
- エムボックス（クレード I b）患者の発生について（2025年9月16日/厚生労働省）
- 新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況）2025年（厚生労働省）



重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは

SFTSは2011年に中国の研究者らによって発表されたブニヤウイルス科フレボウイルス属に分類される新しいウイルスによる**ダニ媒介性感染症**です。

2013年1月に国内で海外渡航歴のない方がSFTSに罹患していたことが初めて報告され、それ以降他にもSFTS患者が確認されるようになりました。

SFTSウイルス（SFTSV）に感染すると6日～2週間の潜伏期を経て、発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が多くの症例で認められ、その他頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血症状などを起こします。

検査所見上は白血球減少、血小板減少、AST・ALT・LDHの血清逸脱酵素の上昇が多くの症例で認められ、血清フェリチンの上昇や骨髓での血球貪食像も認められることがあります。

致死率は6.3～30%と報告されています。**感染経路はマダニ（フタトゲチマダニなど）を介したものが中心ですが、血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されています。**

治療は対症的方法しかなく、**有効な薬剤やワクチンはありません。**

▼ 引用・参考

▶ [国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト](#)
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは

▶ [国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト](#)
マダニ対策、今できること

AMR（薬剤耐性（Antimicrobial Resistance））情報

AMRとは

抗微生物薬は微生物が増えるのを抑えたり、壊したりする薬です。しかし、微生物も様々な手段を使って、薬から逃げ延びようとします。このように、微生物に対して薬が効かなくなることを、「薬剤耐性」と呼びます。

「薬剤耐性」は英語でAntimicrobial Resistanceといい、AMRと略されます。AMRの問題は細菌、ウイルス、寄生虫など幅広い範囲で見られますが、近年、細菌のAMRが注目されています。

▼ 引用・参考 ▶ [「AMRとは」AMR臨床リファレンスセンター](#)

野田保健所管内感染症発生状況

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2025年 第38週
定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

上段は定点当たり報告数
下段は報告数

定点	疾病名	流行状況	コメント	38週	37週	36週	35週	34週
小児科定点医療機関数				114	114	115	113	114
RSウイルス感染症		船橋市(3.3)、野田(3.3)、長生(2.0)		1.06	0.99	1.31	1.00	0.83
				121	113	151	113	95

野田保健所管内において、

・「RSウイルス感染症」

の発生が県内平均を大きく超えています。ご注意ください。

全数把握疾患			結核		
3類	4類	5類	活動性肺結核	活動性肺外結核	潜在性結核
1	0	4	喀痰塗抹(+) : 喀痰塗抹(-)		
腸管出血性大腸菌感染症1件 百日咳4件			0 : 0	0	1

バックナンバーはコチラ ▶

[野田地域感染症情報](#)

参考文献リンク集

- ▶ [国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査週報（IDWR）最新版](#)
- ▶ [厚生労働省・検疫所FORTH](#)
- ▶ [厚生労働省 感染症情報](#)
- ▶ [国立感染症危機管理研究機構](#)
- ▶ [AMR臨床リファレンスセンター](#)
- ▶ [千葉県感染症情報センター](#)
- ▶ [感染対策共通プラットフォーム（J-SIPHE）](#)
- ▶ [診療所版J-SIPHE | QASCIS](#)

発行 / 編集



NDHC | 千葉県
野田保健所

各種申請はコチラから

新規登録申請



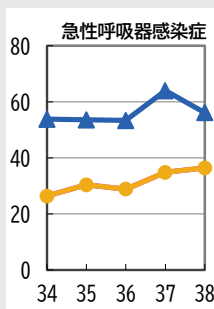
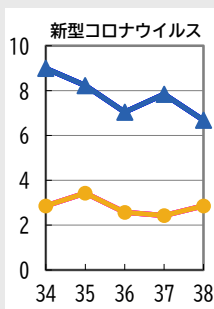
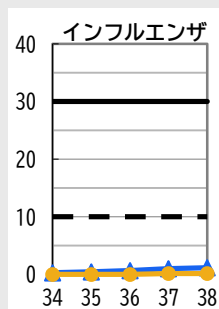
登録内容変更申請



登録削除申請



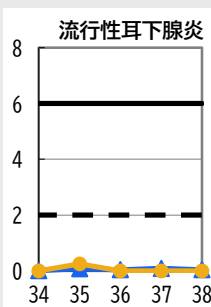
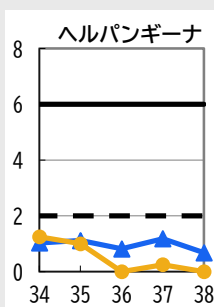
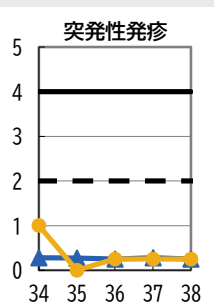
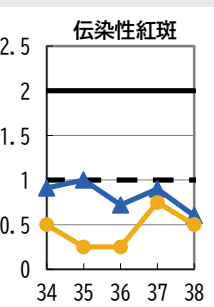
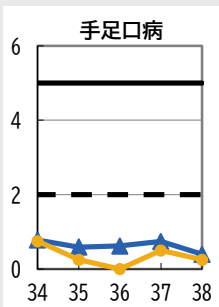
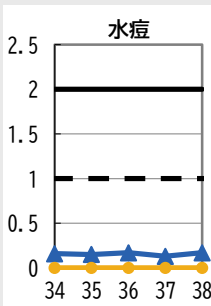
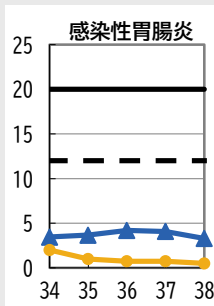
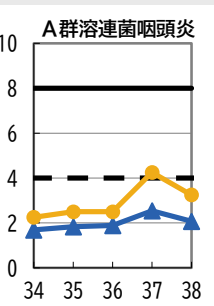
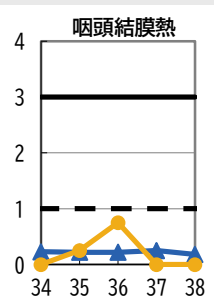
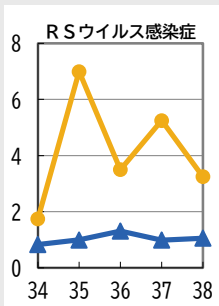
急性呼吸器感染症



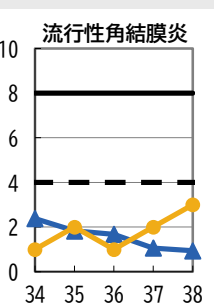
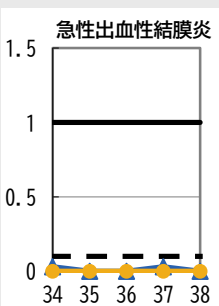
● 管内 --- 解除基準値
▲ 県全体 — 警報基準値

マイコプラズマ肺炎は基幹定点医療機関のみ報告（野田保健所管内に基幹定点はありません）
RSウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎・
新型コロナウイルス感染症は警報基準値等の設定はありません。
令和7年4月7日より定点報告疾患に「急性呼吸器感染症」が追加されました。

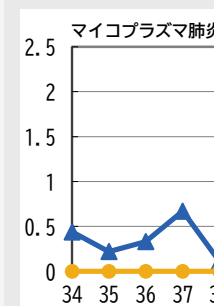
小児科



眼科



基幹病院



（グラフの見方）

※疾患により警報基準値は異なります
グラフの横軸は、「週数」を表します。また、縦軸は「定点あたり報告数（患者数）」を表します。「定点」とは、保健所に患者の発生を報告してくれる医療機関のことで、「定点あたり報告数」とは、定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値を表します。この数値により野田保健所管内の当該感染症の流行状況が把握できます。